

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南大江小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	中央区
学 校 名	大阪市立南大江小学校
学 校 長 名	樋口 義雄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立南大江小学校では、第6学年 138名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南大江小学校の結果概要

令和8年度は国語科と算数科の2教科について調査を行った。

国語科の平均正答率は68%で全国平均を7.1ポイント上回った。正答数別（全問題数13問）の分布状況は、正答数11問を頂点として山なりに分布している。（国語科の標準偏差は全国の3.0に対して、本校は2.8）

算数科の平均正答率は71%で全国平均を14.6ポイント上回った。正答数別（全問題数16問）の分布状況は、正答数14問を頂点とし山なりに分布している。（算数科の標準偏差は全国の4.0に対して本校は3.3）

国語科、算数科ともに標準偏差の値が全国平均を下回っており、得点の分布状況が二極分化することなく比較的まとまっていることがうかがえる。また、無回答率は国語科では全国平均の3.4に対して本校は1.6、算数科では全国平均の3.2に対して1.1と比較的低いことが分かっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

全国平均を上回り、かつ標準偏差が低いという本校の結果から次の分析が可能である。本校の全国平均を上回る結果は、一部の得点上位層が引き上げた結果ではなく、全体として比較的高い得点分布にあることが分かる。また、無回答率の低さから、問題に対して粘り強く取り組んでいる様子も見取れる。問題の形式別の正答率も全て全国平均を上回っているが、特に記述式の偏差が他の選択式や短答式に比べて正の方向に高いことから、総合的な国語力が定着してきていることがうかがえる。

【算数】

算数科においても全国平均を上回り、標準偏差が低く、得点分布が二極分化していない点は同様であり、この傾向は算数科において一層顕著である。また国語科と比べても無回答率がさらに低く、問題にあきらめずに取り組んでいる様子がうかがえる。分野別・問題形式別の正答率も全て全国平均を上回っており特に図形や関数に関わる分野での正答率が高く、算数における活用的技能に優れているといえる。

本校が所属する第3教育ブロックが掲げる「誰一人取り残さない学力の向上」という目標を数値の上で実現するとすれば、高い得点分布と低い標準偏差ということになり、この意味で本校はその目標を実現しつつあるといえる。

質問調査より

質問紙調査からは次期学習指導要領の、また大阪市教育局振興基本計画の重要キーワードである「ウェルビーイング」に関わる項目を主に抜き出している。「学校に行くことが楽しいですか」、「自分には良いところがあると思いますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問項目において肯定的回答が全国平均を上回っている。また、これらの項目内容を支える環境要件の一つとして「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」との質問結果も掲載している。この質問項目の結果の肯定的回答は全国平均を上回るものの、最も肯定的な回答は下回っており、この点は十分に留意しつつ児童らと関わっていく必要がある。

自身のウェルビーイングに関わる数値の高さが「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」といった他者に関わる質問項目においても高い数値に結びついていると推察しており、自他共の幸福を大事にする教育を目指していきたいと考えている。

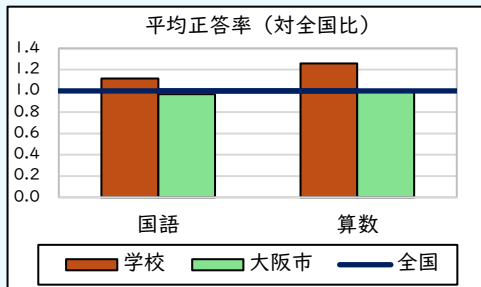
今後の取組（アクションプラン）

上記の調査結果から、数値として全体的に好ましい状態にあると言えるが、今後は全体の指標以上に、より個別最適な学びを目指して児童の多様性に対応できる学校づくりを目指していきたい。小学校段階においては、基礎基本の学習とともに、学ぶこと自体を楽しみ、生涯にわたって学び向上しようとする学習態度、意欲を喚起する授業力の向上に教師自身も取り組みたい。そのためには、教職員の働き方改革を強く推進していく必要があるが、その目的は児童らとより良い関係を築き、上記のような授業力を向上していくことで児童らに還元いくためのものでもありと考えている。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

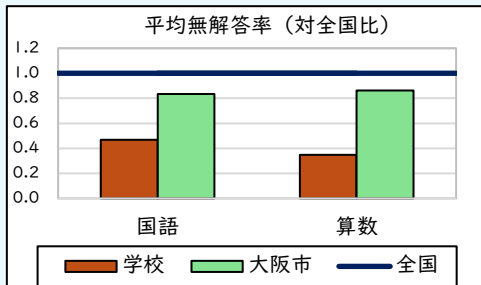
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	68	71
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



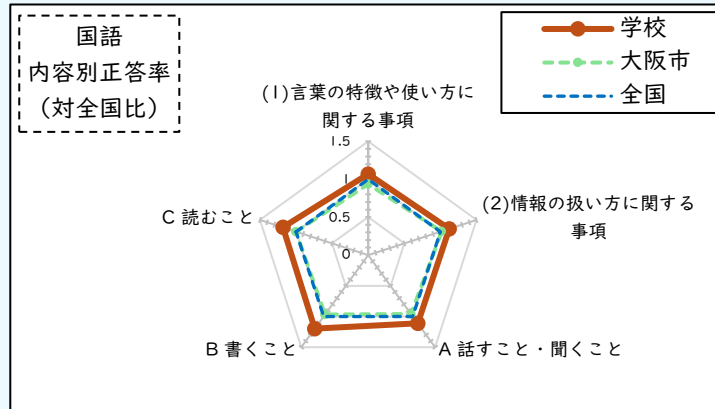
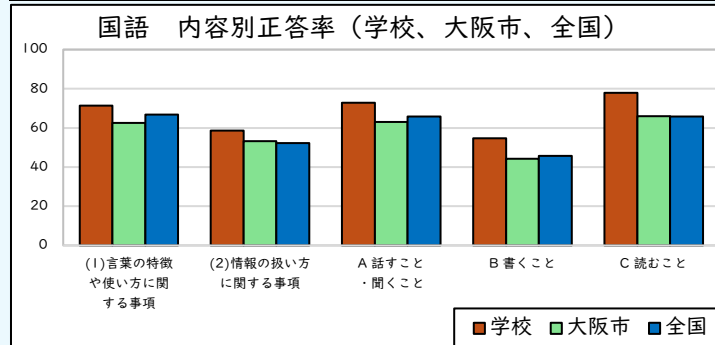
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.6	1.1
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



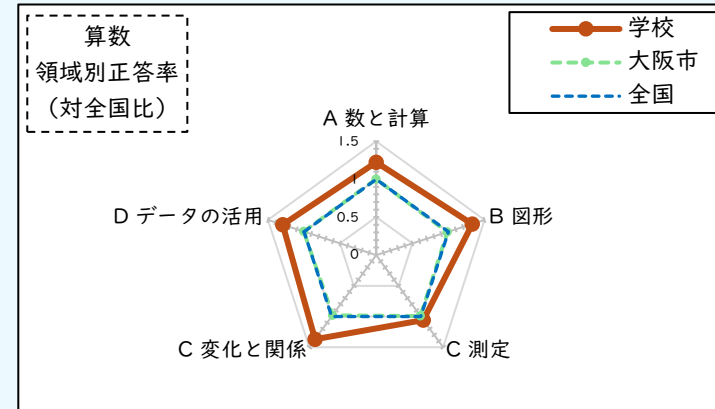
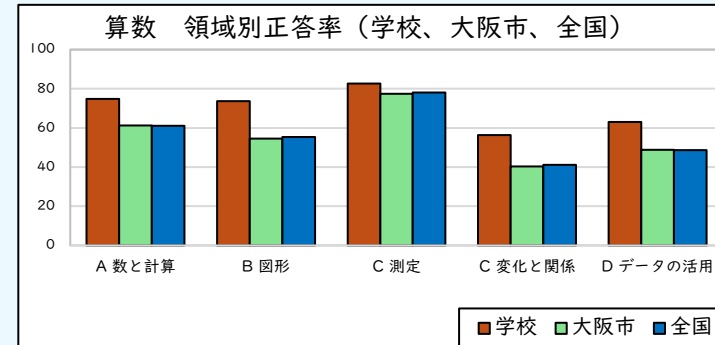
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	71.4	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	58.7	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	72.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	54.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	77.9	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	74.8	61.2	61.1
B 図形	4	73.6	54.5	55.3
C 測定	1	82.6	77.5	78.1
C 変化と関係	3	56.3	40.3	41.1
D データの活用	4	63.0	48.8	48.6



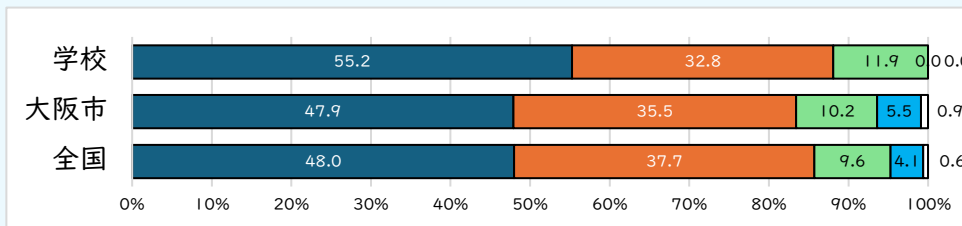
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

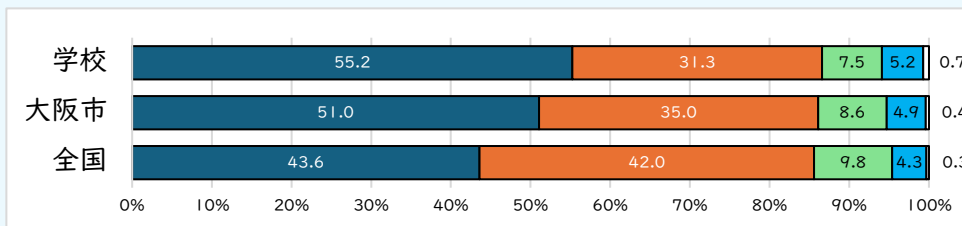
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



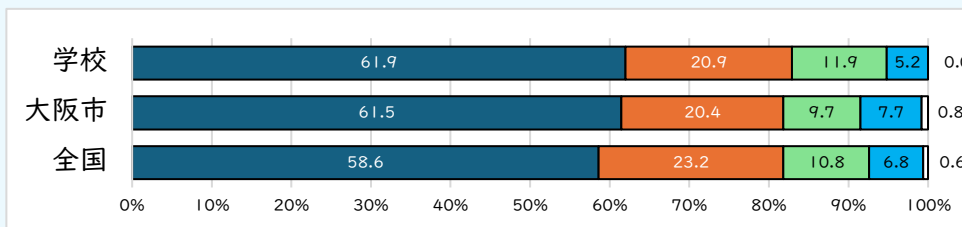
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



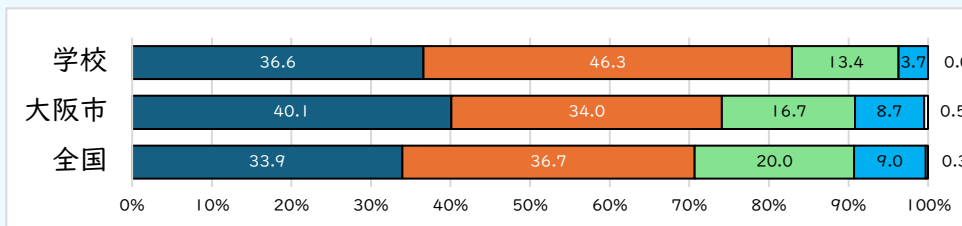
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(10) 将来の夢や目標を持っていますか



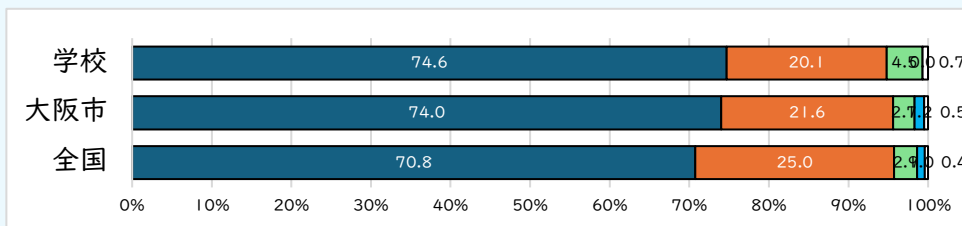
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

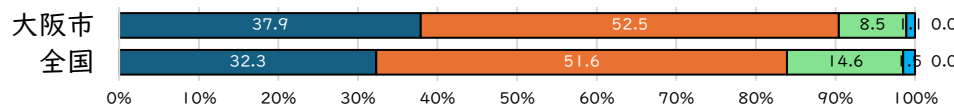
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

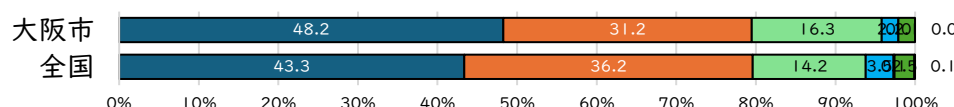


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(14)

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

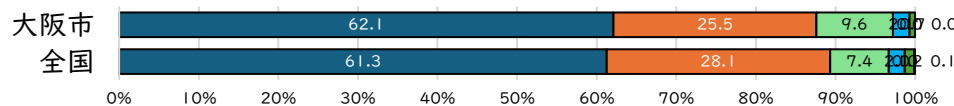


1 週に1回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

(15)

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

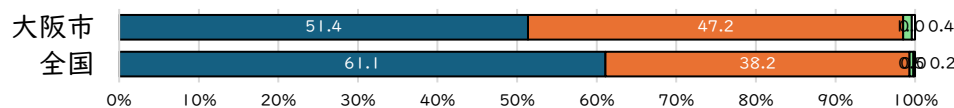


1 週に1回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

(19)

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

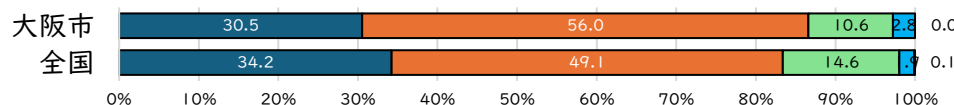


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(24)

児童にとって、学校施設全体として、児童が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 3 どちらかといえば、そう思わない



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない